

町道井の岬線の避難道工事

Q 国道近辺で、高台への避難道を造るのか。

A 伊田の簡易郵便局から旧国道、町道井の岬線の舗装の補修。路盤からやり直す計画。

測量で測量設計委託

Q 3380万円の内容は。

A 町道浮津線の浮津橋を修繕する設計づくりと23年度に橋りょう点検業務もしたので、町内254橋の補修計画を委託する。実際工事に入るのは25年度から。その他、市野々川丸山線の委託も450万円ある。

入野駅前多目的広場整備測量設計委託、入野駅前線道路整備測量設計委託

Q 城山住宅等を含め、どういう目的で進めるのか。

A 23年度の事業で、黒潮町市街地まちづくり計画策定業務が進行しており、プロポーザル形式で計画を作り24年度事

業で広場の造成設計と駅前線西側、1haの農地を公共用地に変える開発許可の申請をする。併せて入野駅前線が町道なので、企画提案に沿って改良することになる。

城山は、国道56号の改良によって移転を余儀なくされる方の宅地整備計画。

避難タワー建設工事1億円、避難道等整備工事、備蓄倉庫1千万円、非常用電源装置1千万円。

Q これはどこなのか。

A 国の交付税で7割、県の交付金が3割という有利な事業が出たので、非難タワー等防災対策の予算は場所の指定が出来る段階にないが必要額を組んだ。他にも、学校の耐震化、屯所の移転、集会所の対策等この予算の中に入れた。備蓄倉庫についても確定はしていない。

地区から要望の強い避難道整備費4千万円は、事業要望の概算が8千万円あるうちの半分、2年で済ませたい。

備品の非常用電源は震災が来て一番困る病院や福祉施設等の電源確保。

大方給食センター

Q 雇用体制と運営形態は。



坂本教育長

A 25年度以降に実施を予定しており、佐賀の給食センターを含め委託を考えている。

センター長は両施設を兼務。調理員は、配置転換となる。

平成24年度黒潮町情報センター事業特別会計予算

Q 一般会計からの繰入金3200万円、基金繰入2200万円、総額5575万円が繰入れられるのか。

赤字になったら利用料は、上げるのか。

A 料金を頂くのがテレビとインターネットの部分。この部分の増加がないということになれば総額5575万円の繰入れが続くが、一生懸命加入増に努める。

利用料の問題は、町のサービスの一環なので情勢の変化はあろうが値上げは考えていない。

おめでとうございます 小永 正裕 議員

- 全国町村議会議長会表彰状
- 高知県町村議長会会長より感謝状
が贈られました。



情報センター内の様子